

多様性の海へ

秋田県 由利本荘市立岩城中学校三年

吉田 輝来良

貴方は、男性ですか？女性ですか？

私は、この質問をされると、少し喉がぎゅぐゅとするような感覚になり、心の中で「私は、私だ」と返します。そう思うようになったきっかけは、2015年の春に、埼玉に引っ越し、とても大切な二年間を、埼玉で過ごしたことでした。そこででの出会いを通して新たな発見や、学びが沢山あり、私自身の価値観や考えにも大きな変化がありました。

小学四年生までの私は、勉強が嫌いで、自分の中でおかしいことではないかと思っていたことが、周りにはおかしく見えていて「輝来良ちゃんって不思議だね」と言われても自分自身なのに、不思議でおかしなことなのか、わかっています。ただ自分は、ほかの子たちとは違うという漠然とした居心地の

悪さを、おぼえていました。そして転校初日、不安いっぱいで緊張していた私を迎えてくれたのは、個性豊かな人達でした。一つのグルーップレイヤーの型にはまらず、それぞれが自分を表現し理解しあっている。その間柄、空間が、新しくとも居心地がよかつたのです。時に意見の対立が起きたとしても、自分にはなかつた新しい考えとして、互いに評価して尊重していた姿が、かつこよく見えて、自分でももつと表現したいと思わせてくれました。

違うことが当たり前前の世界に出会って、かえって協力して物事に取り組むことの楽しさや素晴らしさを感じるようになりました。

私は、性的少数者のパニセクシヤルにとって、近いと思います。パニセクシヤルとは、あらゆるすべての人達を、隔たりなく愛することのできるセクシヤリティのことです。私自身も、身が初めてLGBTQについて調べ、これかもしれないと思つたとき、難しい言葉で囲われていて、その部分でも、私はおかしくて恥

ずかしい性質を持っていてのかなと思いまし  
 た。そんな時に出会ったのが、YouTube  
 ertでもあるけみおさんのツイートでした。  
 「女性や男性誰がどの性と恋に落ちようと愛  
 し合おうとその愛の形におかしいとジールを  
 貼り付けようとするなんて、間違っている、  
 というか秒で進む時代がそのジールをすぐに  
 破棄しちゃうよ。愛の形は無限大で空よりで  
 けえんだー」  
 この言葉に、みんな違っけれどおかしなこ

とではなく、その人自身の魅力や特徴だと気  
 づき、愛しました。そして私自身がパニセ  
 クシャル、性的少数者という言葉やその分類  
 に、括り付けられていたのかもしれません。  
 いつのまにか、無意識のうちに使っ  
 っている言葉も時には、私達のバを括っ  
 ます。「男らしい・女らしい」という言葉も  
 その一つです。メイクアップアーティストで  
 僧侶の西村宏堂さんは、「人の性格や人とな  
 りを性別で表すことはできない。コ  
 ンパワフル

な人だ<sup>ら</sup>。 <sup>口</sup>すごく柔らかな人だ<sup>ら</sup>など性別の  
 ない形容詞を使うことで、みんなが自由に生  
 きられる<sup>ら</sup>を述べていました。 <sup>ら</sup>自由は生  
 多様性の時代とよくいわれます。 L G B Q  
 のように、いろいろな言葉で説明され、分類  
 されていて、自分的に「性<sup>ら</sup>に何も疑問を  
 もたず、男女で分類されたり順序だ<sup>ら</sup>てされた  
 りすることには慣れてしまっ<sup>て</sup>いることも事実  
 です。私は自分に自信がなくて不安だ<sup>ら</sup>だけ  
 れど、違<sup>う</sup>ことが当たり前で個性豊かな人だ<sup>ら</sup>

ちとの出会いで世界が広がりました。  
 一人一人の新たな発見から偏見をなくし、  
 「自分らしさを殺さない<sup>ら</sup>そんな世の中にし  
 ていきたい<sup>ら</sup>と思います。私はこれからも「  
 も<sup>ら</sup>と学んで、パワーアップした姿で、いつ  
 か彼らに再会したい<sup>ら</sup>と思います。

最初の質問に改めて答えます。

「貴方は男性ですか。女性ですか<sup>ら</sup>。

「私は私、吉田輝来良だ<sup>ら</sup>。